

令和5年度 「効果的で充実した教育活動のために」
アンケート調査の集計結果と分析について（報告）

1 調査の概要

(1) 調査の目的

生徒がより良い教育活動を享受できるように、学校が学校としての目標や取組等の達成状況を明らかにして、その結果をもとに学校運営の改善を図るために行う。

(2) 調査仕様

① 調査対象

	生徒		保護者	
人数（人）	7月56人 12月57人		7月50人 12月51人	
回答者数（人）	7月 55人	12月 56人	7月 50人	12月 50人
回収率（%）	98%	98%	100%	98%

② 調査方法 生徒・保護者・教職員ともに Goole フォームのアンケート機能を用いて回収した。

③ 調査期間 令和5年7月・12月(2回実施)

④ 調査内容

学校生活全般、確かな学力と自立する力の育成、豊かな心と自己実現を図る力の育成、生徒理解・生徒指導・教育相談の充実、家庭・地域との連携と開かれた学校づくりの推進、教育環境の整備と充実 生徒19項目・保護者19項目

(3) 結果及び分析における用語等

①「肯定的な回答」…「そう思う」と「大体そう思う」という回答の合計

②「否定的な回答」…「あまりそう思わない」と「そう思わない」という回答の合計

③グラフ中の色 … 青色：「そう思う」、オレンジ色：「大体そう思う」、
緑色：「あまりそう思わない」、赤色：「そう思わない」、

2 結果及び分析

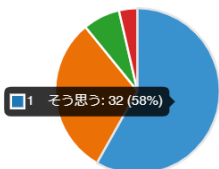
※左のグラフが今年度7月、
右のグラフが今年度12月の結果です。

%は、肯定回答（そう思う・大体そう思う）と回答したものを合わせた肯定回答率です。

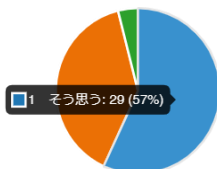
学校生活全般

(1) 生徒：あなたは、学校生活を「充実して楽しい」と感じていますか。

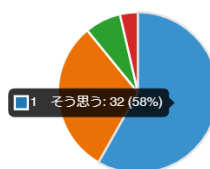
保護者：お子さんは、学校生活を「充実して楽しい」と感じていると思いますか。



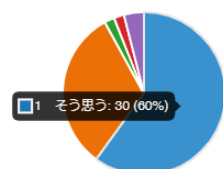
(7月) 生徒 89%



保護者 96%

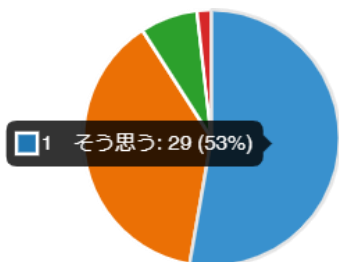


(12月) 生徒 93%

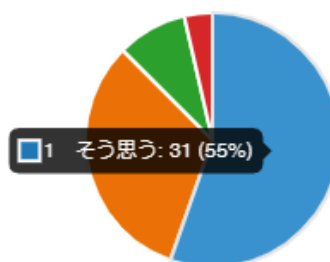


保護者 92%

(2) 生徒：あなたにとって、学校や学級は居心地の良い場所ですか。

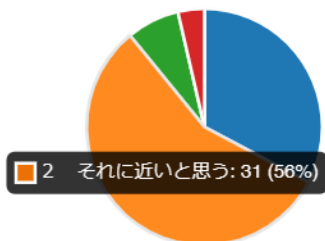


(7月) 生徒 91%

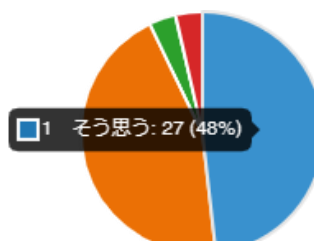


(12月) 生徒 87%

(3) 生徒：あなたは、学校教育目標である「地域に根ざし、心豊かにたくましく生きる生徒」として、学校生活を送っていますか。



(7月) 生徒 91%



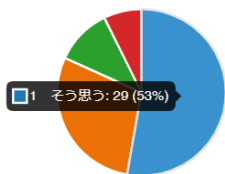
(12月) 生徒 93%

【分析】7月と同様に、生徒は肯定的な回答をしていることから、多くの生徒が、充実し、楽しい学校生活を送っていることが分かる。しかし、「学校が楽しいと感じない」「学校や学級の居心地がよい場所ではない」と感じる生徒もわずかながらいる。個々の生徒の心に寄り添うことができるように、個別の対応や丁寧な支援が必要であると感じる。これからも、全職員がひとりひとりの生徒の居場所を大切にしながら、適切な対応や支援を継続していきたい。

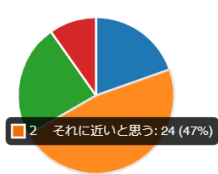
確かな学力と自立する力の育成

(4) 生徒：あなたは、家庭での学習に努めていますか。

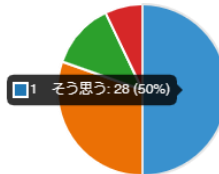
保護者：お子さんは、家庭で勉強する習慣が身についていますか。



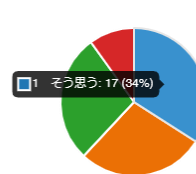
(7月) 生徒 82%



保護者 67%



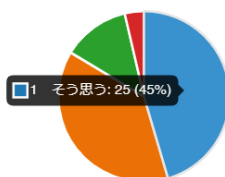
(12月) 生徒 80%



保護者 62%

(5) 生徒：あなたは、学習に目標を持って生活していますか。

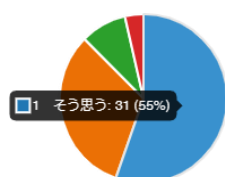
保護者：お子さんの学習の記録や成績表を確認し、それについて、励ましたりアドバイスをしたりしていますか。



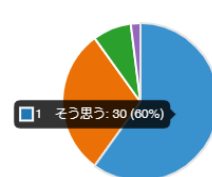
(7月) 生徒 83%



保護者 92%

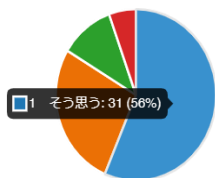


(12月) 生徒 87%

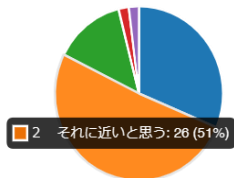


保護者 90%

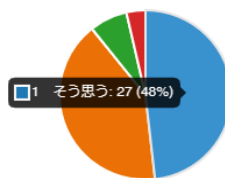
(6) 生徒：あなたは、授業や学校生活において、ICT を効果的に活用していますか。
保護者：お子さんは ICT を効果的に活用して学習に取り組んでいますか。



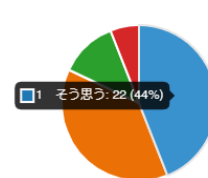
(7月) 生徒 83%



保護者 82%

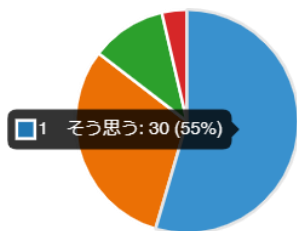


(12月) 生徒 89%

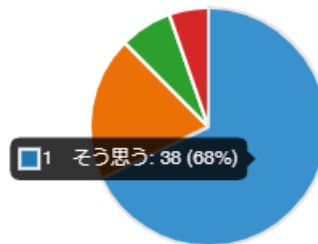


保護者 82%

(7) 生徒：あなたは、わからないことを解決するために、先生や親、友達に教えてもらおうとしていますか。

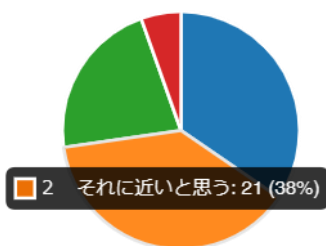


(7月) 生徒 86%

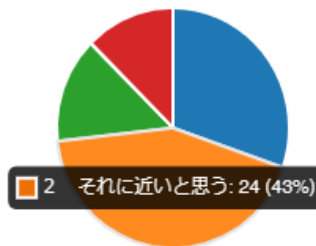


(12月) 生徒 88%

(8) 生徒：あなたは、自分の学力が向上してきていると実感していますか。

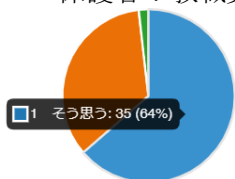


(7月) 生徒 83%

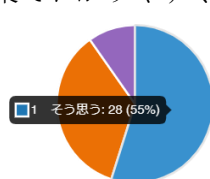


(12月) 生徒 73%

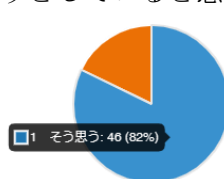
(9) 生徒：あなたにとって、先生はわかりやすい授業をしていますか。
保護者：教職員は、授業でわかりやすく教えようとしていると感じますか。



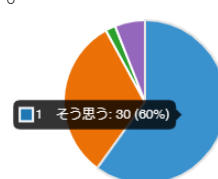
(7月) 生徒 99%



保護者 90%



(12月) 生徒 100%



保護者 92%

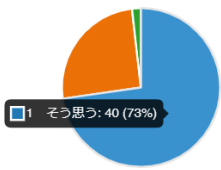
【分析】 わかる授業への改善に向け、「先生はわかりやすい授業をしていますか？」という問いに12月の生徒の回答は100%肯定的であったことはとても喜ばしく感じる。さらにわからないことを解決するために、親や先生に教えてもらおうとしている点では、生徒の学ぶことへの知的要求が高まっている。

一方で、自分の学力が向上していると実感していない生徒が約1割に増加している。個々に学習への向かい方が異なるため、個々に見合った学習環境や、学習方法へのアドバイスなどの確に行い、一人一人に寄り添って支援を行っていきたい。「家庭で勉強する習慣が身についているか」という問いに対して、保護者の希望はもっと高いこともわかる。家庭への働きかけや課題の出し方、伝え方の工夫を改善していく必要があると感じた。

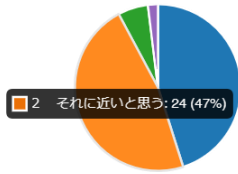
また、引き続き、気づき、考える学習指導やきめ細かな学習支援を行うとともに、「主体的・対話的な深い学び」を通して、資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続ける態度を育成していきたい。

豊かな心と自己実現を図る力の育成

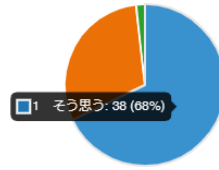
- (10) 生徒：あなたは、学校や地域であいさつをしていますか。
保護者：お子さんは、礼儀正しくあいさつをしていると思いますか。



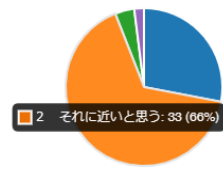
(7月) 生徒 98%



保護者 92%

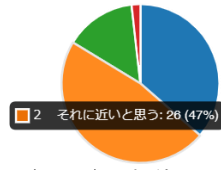


(12月) 生徒 98%

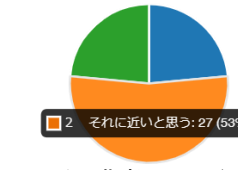


保護者 88%

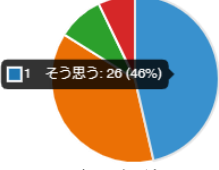
- (11) 生徒：あなたは、早寝・早起き・朝食をとるなど規則正しい生活をしていると思いますか。
保護者：お子さんは、規則正しい生活をしていると思いますか。



(7月) 生徒 83%



保護者 77%

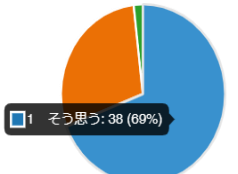


(12月) 生徒 84%

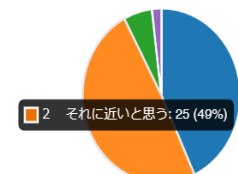


保護者 66%

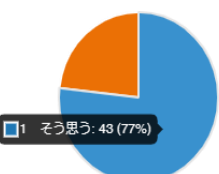
- (12) 生徒：あなたは、時や場に応じた言葉遣いをしていますか。
保護者：お子さんは、時や場に応じた言葉遣いをしていますか。



(7月) 生徒 98%



保護者 92%

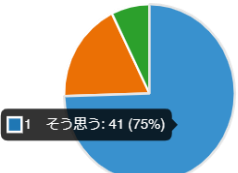


(12月) 生徒 100%

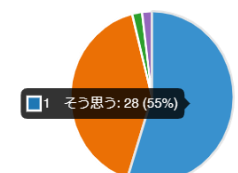


保護者 92%

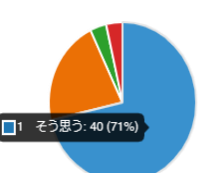
- (13) 生徒：あなたは、掃除や給食当番などをよくやっていると思いますか。
保護者：お子さんは、掃除や給食当番などをよくやっていると思いますか。



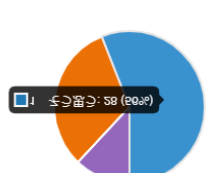
(7月) 生徒 93%



保護者 96%



(12月) 生徒 93%



保護者 88%

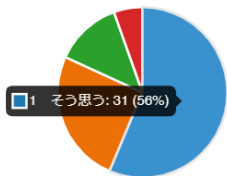
【分析】7月と比較すると、「規則正しい生活」では、やや生徒の数値が下がってきている。スマホやSNS等のネット社会を取り巻く全国的な課題は、今後研修や学習会等を計画し現状を正しく理解する中で、生徒の生活実態を注意深く見守っていききたい。

「地域であいさつ」「時や場に応じた言葉遣い」で生徒は12月100%肯定的な回答をしている。

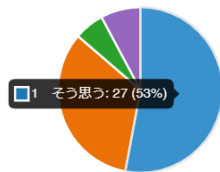
「清掃や当番活動」でも9割以上の生徒・保護者が肯定的な回答をしている。あいさつや奉仕活動への意欲が高い武川中のよさを今後も継続していくことができるよう、これからも地域との交流を大切にして、「地域で主体的に生きる力」をもった子どもたちの育成を行っていききたい。

健やかな体とたくましい精神力の育成

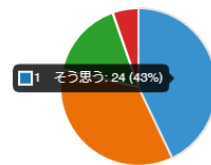
- (14) 生徒：あなたは、健康づくりや体力づくりに進んで取り組んでいますか。
保護者：学校では、健康づくりや体力づくりへの取組が、適切に進められていると思いますか。



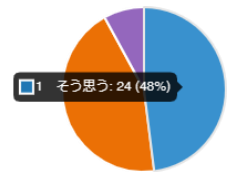
(7月) 生徒 81%



保護者 86%



(12月) 生徒 79%

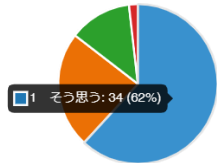


保護者 86%

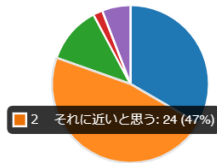
【分析】生徒や保護者の約8割が、取り組みについて肯定的な回答をしている。本校においても朝活動で全校体力作りを週に一度に行っているが、今後も本校の特色ある教育課程に位置づけられる「体力づくり」や部活動の充実に努めていきたい。

生徒理解・生徒指導・教育相談の充実

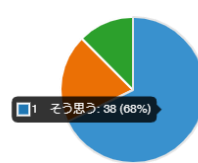
- (15) 生徒：あなたには、学習や生活のようすや悩みを話せる相手がありますか。
保護者：お子さんは、学習や生活の様子や悩みを話してくれると思いますか。



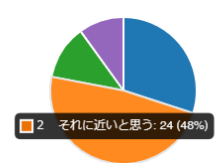
(7月) 生徒 86%



保護者 80%

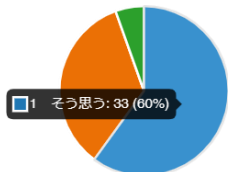


(12月) 生徒 88%

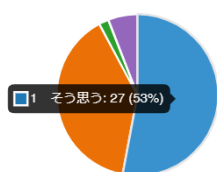


保護者 78%

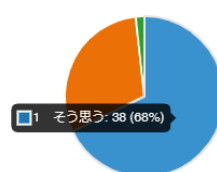
- (16) 生徒：あなたにとって、先生はよく理解してくれていると感じますか。
保護者：教職員は、生徒に寄り添った支援や問題対応など、生徒指導で適切に対応していると思いますか。



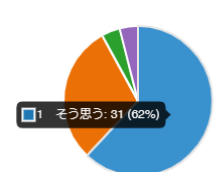
(7月) 生徒 95%



保護者 92%



(12月) 生徒 98%

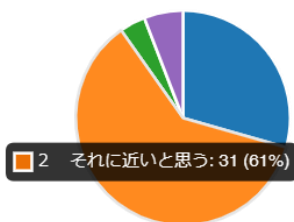


保護者 92%

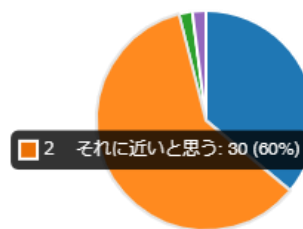
【分析】「学習や生活のようすや悩みを話せる相手がいる」では肯定的な回答が多く、「教師がよく理解してくれている」では生徒が肯定的な回答が増えている。引き続き、教職員が一人一人の生徒とのコミュニケーションを図り、保護者と連携し、生徒に寄り添う姿勢を大切にしていきたい。
また、一人一人の悩みや相談事は個々に異なるため、養護教諭やスクールカウンセラー等連携し、きめ細やかな対応の成果であると思う。引き続きチーム学校としての機能を高め、生徒のこころの発達に適切な支援ができるよう配慮していきたい。

家庭・地域との連携と開かれた学校づくりの推進

- (17) 保護者：保護者や地域に、学校の方針や生徒活動の状況などがよく伝わっていると思いますか。

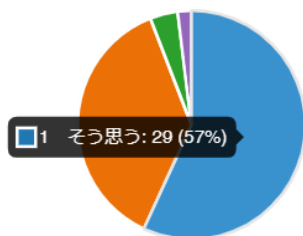


(7月) 保護者 90%

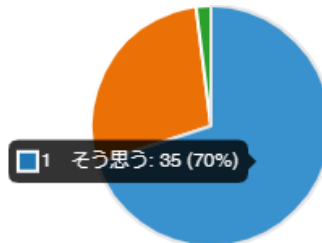


(12月) 保護者 96%

(18) 保護者：保護者は、学校の行事やPTA活動等に積極的に参加していますか。



(7月) 保護者 94%



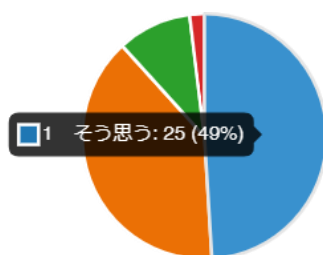
(12月) 保護者 98%

【分析】本年度も各種行事、授業参観などを通じて、生徒の活動状況を見ていただく機会を設けてきたが、本校の教育に対して理解を求めていく一方で、学校HPや各たより等による情報発信を通じて、家庭でのコミュニケーションも促していきたい。

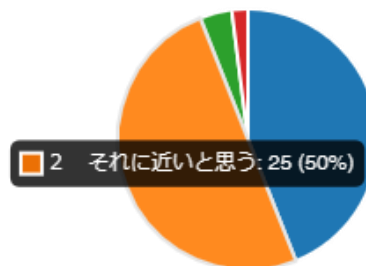
2回の回答では、ほとんどの保護者が「学校行事に積極的に参加している」との回答であった。家庭において、武川中学校の教育活動に関心をもち、貴重なご意見をいただくことで、より充実した学校運営ができるよう、目指していきたい。また、昨年度から導入された学校運営協議会の方々には、奉仕作業、放課後学習会、中山登山に向けた準備や登山等、学校教育活動における様々な方面でご尽力をいただいた。これからも地域との連携や地域に根ざした「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた学校作りを推進していきたい。

教育環境の整備と充実

(19) 保護者：学校の環境設備や施設設備は、適切であると思いますか。



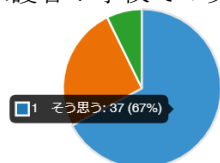
(7月) 保護者 88%



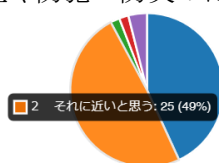
(12月) 保護者 94%

(20) 生徒：あなたは、日頃から健康で安全な日常生活が送れるよう気をつけていますか。

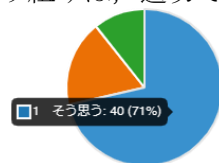
保護者：学校での交通安全や防犯・防災のための取り組みは、適切であると思いますか。



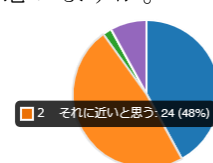
(7月) 生徒 92%



保護者 92%



(12月) 生徒 89%



保護者 90%

【分析】「日頃から健康で安全な日常生活」を送ることができているという回答は高くなっている。今年度は体育館のLED照明の設置や多目的トイレの設置等の大規模工事を行なった。その他登下校に関わる駐車場のライン引きや樹木の伐採など要望を出し、可能な範囲で改善に努めてきた。

「学校の環境整備や施設整備」は、日々の点検で修理を行ってきたが、校舎も老朽化が進んでいる。生徒が安全に学習できる環境を目指して、引き続き、市にも要望を出しながら、改善に努力していきたい。また、今後も継続して、武川地区全体の要望として義務振等でも働きかけていきたい。今年度は地域の方からも自転車の乗り方についてご意見をいただいた。「交通安全や防犯・防災の取り組み」は継続して行い、登下校への安全を第一に呼びかけや生徒への指導を行なっていきたい。

・今後生徒減・加配減による教職員減が予想される。その中で、校務分掌の的確な割り振りを

お願いしていきたい。今後も一部の先生方に負担がかかり、勤務時間がと言われても打開ができないのが現状だと思う。また、それぞれの働き方があるため難しいとは思いますが、最低限の公平性は保ってほしい。

・多様な働き方や配慮すべき事項など、ある程度負担に差が出ることもやむをえないとは思いますが、業務過多な教員とそうではない教員の差がありすぎると思います。多くの業務を抱え、超過勤務せざるをえない教員がいないと成り立たない学校運営にならないよう、配慮をお願いします。

・地域や保護者のことよりも、生徒の考えや思いを尊重していきたい。